

## 厚労省ブラック企業の電話相談実施結果

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000019371.html>

若者の「使い捨て」が疑われる企業等に関する無料電話相談の実施結果（速報）を公表します  
平成25年9月1日（日）に実施した若者の「使い捨て」が疑われる企業・事業所等に関する『無料電話相談』について、全国で1,042件の相談が寄せられました。

### 【全国の相談実施結果（速報）】

【相談件数】 1,042件

#### 相談者の属性

1 労働者本人	716件 (68.7%)
2 労働者の家族	223件 (21.4%)
3 その他	103件 (9.9%)

#### 相談の対象となった労働者の年齢（件数上位3項目※1）

1 30～39才	253件 (24.3%)
2 20～29才	252件 (24.2%)
3 40～49才	182件 (17.5%)

#### 相談が多かった業種（件数上位3項目）

1 製造業	213件 (20.4%)
2 商業	207件 (19.9%)
3 その他の事業	108件 (10.4%)

#### 主な相談内容（件数上位3項目※2）

1 賃金不払残業	556件 (53.4%)
2 長時間・過重労働	414件 (39.7%)
3 パワーハラスメント	163件 (15.6%)

※1 「不明」の項目は、件数上位3項目には記載していない。

※2 複数回答

※速報値であるため、変更の可能性がある。

[報道発表資料 \(PDF : 185KB\)](#)

[参考 \(PDF : 124KB\)](#)

平成25年9月2日【照会先】労働基準局監督課（内線5543, 5542）

### （報道より）

○NHK **ブラック企業 送検含め対応** 9月3日 13時31分

田村厚生労働大臣は閣議のあとの記者会見で、離職率が極端に高いなど、若者の使い捨てが疑われる企業を巡る問題で、特に悪質な企業については、労働基準監督署が送検したり企業名を公表したりするなど、厳しく対応する考えを示しました。

厚生労働省は、離職率が極端に高いなど、若者の使い捨てが疑われる企業を巡る問題への対策を進める一環として、1日、無料の電話相談を行い、賃金の不払いや過剰労働などについて1042件の相談を受けました。

田村厚生労働大臣は閣議のあとの記者会見で、「賃金の不払いなど、幅広い案件で企業を指導していく。指導を聞かなかつたり、重ねて指導したあとも、そのようなことを行う企業は、検察への送検も含めて対応し、当然、名前も公表する。『ブラック企業』と言われる問題にしっかり対応していきたい」と述べ、労働基準監督署が送検したり、企業名を公表したりするなど厳しく対応する考えを示しました。